

# 瀬戸内市牛窓北小学校

児童生徒数 67名 ・ 学級数 6学級 ・ 教職員数 14名（平成26年6月10日現在）

## ○取組実践のキーワード

継続的な取組による基礎的な学力の向上

## ○標題（研究主題）

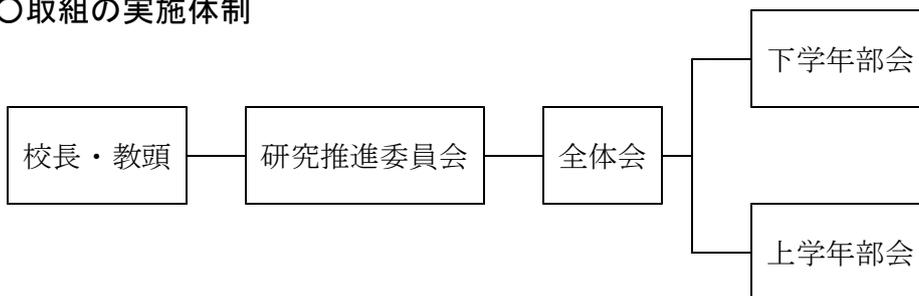
書くことで自分の考えをより確かなものにすることができる子どもの育成

## ○取組を始めた経緯

本校では、30年以上にわたる学校全体の取組として、前学年までに学習した漢字の復習テストを年間約10回程度、暗算テスト（四則計算）も年間約10回程度実施している。その成果は表れてきているが、そうして習得した知識などを活用して問題を解いたり自分の考えを文章や言葉で表現したりすることに課題が見られるだけでなく、個人差も見られる。

これまでの取組を継続するとともに、それぞれの実態に応じた個別指導の時間を確保したり、授業の中で意見や考えを伝え合う場を意図的に設けたりする取組を継続することにした。

## ○取組の実施体制



## ○学力向上に向けた具体的な取組

・これまで継続してきた取組

- 前学年の既習漢字テスト；校長が問題用紙を作成する。担任は、事前に配付された問題用紙を使って習熟を図る。校長が採点し、集計結果を担任に返す。
- 四則計算の問題を多数用意し、設定したテスト日に向けて繰り返し練習し、担任が採点する。
- 毎週火・木・金曜日の放課後、1～3年生は15時から15分間、4～6年生は15時50分から15分間を「学力支援」の時間として時間割に位置付け、授業中にできなかった内容の復習などを行う。担任と学習ボランティア及び放課後学習サポート事業の支援員が指導をする。その時間の課題が早く終了した児童は、運動場でボランティアに見守られながら一輪車や竹馬などで遊び、体力づくりの一環とする。
- 家庭と連携を図りつつ定期的ががんばりカードなどを使って指導し、望ましい生活リズムの定着と家庭学習の習慣化を目指す。
- 月曜日でクラブのある日の6校時に、1～3年生の希望者を対象に「放課後学習」を行う。普段の授業の補充的な問題や宿題等を行い、管理職や学習ボランティア、参加可能な担任が指導をする。

## ・新しい取組

- a) 学力支援の時間を使い、1週間に1度のペースで県教委作成の学習到達度確認テストを行い、前学年の復習を行う。本年度は、試行的に算数のテストから行う。採点は管理職が行い、共通して間違いやすい問題等の指導は担任が行う。
- b) 漢字テストで間違いの多かった漢字を中心に、その漢字を使った短文づくり等の問題プリントを作成して実施する。
- c) 校内研究の一環として、算数の授業で、どのような指導をすれば児童が自分の考えや意見を筋道立てて記述できたり、互いに伝え合えたりすることができるかを研究授業の中心に協議を行い、日々の実践につなげていく。

## ○現在までの取組の成果と課題

### 1 成果

- ・平成24年度と25年度に実施した各10回程度の漢字テスト（1回につき25～50字）の個人別年間平均点において、ほとんどの児童が95点以上になっている。このことは、前年度までの既出漢字の定着に本テストの実施が有効であったと考えている。
- ・暗算テストは、学年の既習内容に応じた四則計算のプリント（問題数は、1年生以外は81）を選択し、年間に4回（1回につき同一問題を3回、計12回実施。学年に応じて2～4分の制限時間を設けている。）実施している。24・25年度の個人の平均値を比べてみると、4年生以上ではほとんどの児童が25年度に上昇している。整数のみの四則計算によるテストだが、短時間に正確に計算できるようになってきていることが分かる。

○以上2点の成果が直接的に国・県の学力調査の結果に表出しているとは言い難いが、学習に対する心構えにおいては意義のある取組であった。

### 2 課題

○全般的に、直近の学習内容に関する出題は正答率が高くなり、前学年や前々学年の内容では正答率が低くなる傾向がある。このことから、時間を経た学習内容の復習が課題である。

## ○取組の継続・発展の要因

- ・漢字テストと暗算テストは本校において30年以上の取組の歴史があり、定期的に「すること」が「当たり前」になっている。この貴重な歴史を、今後も受け継いでいきたい。
- ・その他の取組も、「当たり前」となっていくように、継続して取り組んでいく。また、その取組の中で、上記の課題の克服に向けた方策を具体化していきたい。

## ○管理職・中核教員等のアクション

- ・漢字テストや暗算テストのように、結果を数値化できる取組は、結果をデータを示して成果を担任等と共有し、児童の学習意欲の向上につなげたい。
- ・個々の取組を継続する一方、校内授業研究を中心に、日々の授業の充実を図ることで学力の向上を目指す事が大切である。管理職は、校内研究の様々な場で積極的に発言し、研究が遅滞なく進むように心がけている。

○その他の資料・写真等

資料1 年間の個人平均点の推移（漢字テスト）

		24年度	25年度	26年度			24年度	25年度	26年度
1年生					4年生		97.3	99.8	
							100.0	99.8	
							94.6	99.8	
							97.2	99.6	
							95.7	100.0	
								99.3	
								99.8	
							98.4	99.8	
2年生			97.8			99.6	99.5		
			97.8		5年生	99.7	99.0		
			98.9			87.9	98.1		
			100.0			99.7	99.7		
			99.4			95.8	98.5		
			100.0			87.8	96.9		
			100.0			84.4	99.1		
			96.7			98.5	99.1		
						92.5	95.8		
			100.0			93.1	98.3		
		100.0		96.3		99.9			
3年生		100.0	99.1			97.3	95.4		
		99.3	99.0			74.0	99.3		
		91.4	92.2			99.4	99.8		
		100.0	100.0			99.7	99.9		
		100.0	99.2			93.6	97.3		
		96.4	96.7			93.5	98.8		
		96.4	96.0			98.7	99.2		
		100.0	99.4		6年生	97.6	97.7		
		98.6	95.6			98.9	98.8		
		100.0	100.0			99.9	99.7		
			94.8			100.0	98.7		
		99.3	98.6			100.0	99.7		
		100.0	99.9			99.7	99.3		
		99.3	99.2						
		97.9	95.4						
	100.0	99.3							

資料2 暗算テスト年間の個人平均点の推移

		24年度	25年度	26年度			24年度	25年度	26年度
1年生					4年生		58.8	76.9	
							79.2	80.5	
							74.3	80.2	
							81.0	80.3	
							69.5	79.9	
								78.4	
								77.7	
							77.9	80.4	
2年生			39.9		5年生		80.8	81.0	
			39.4				69.4	79.8	
			38.1				76.4	80.7	
			40.0				80.5	81.0	
			39.8				55.5	80.1	
			40.0				48.3	79.8	
			39.3				80.8	80.9	
			39.9				80.6	80.7	
							72.7	79.2	
			40.0				55.8	79.3	
3年生		39.9	80.8		6年生		53.3	80.8	
		39.8	75.9				58.9	76.5	
		37.1	66.2					79.3	
		39.6	79.3				80.0	80.8	
		39.8	75.8				62.0	80.9	
		38.7	79.4				30.0	80.3	
		39.7	74.5				26.0	65.8	
		39.9	80.3				79.0	80.5	
		39.2	74.2				79.3	80.7	
		40.0	80.8				80.9	81.0	
							77.1	79.8	
		37.0	71.8				80.7	80.3	
		39.9	80.5				79.3	80.2	
		39.9	66.7				79.4	80.9	
		37.2	62.8						
	39.6	80.8							

※暗算テストは81問を出題。ただし1年生は加減法で40問。